

# 道徳科学習指導案

1 日時・学年 令和元年11月7日（木） 5年

## 2 授業の視点

ひろしがのりおの失敗を許した行為の理由を話し合い、相手を許すことの良さについて考えさせたことは、相手の立場になって寛容な心で接していこうという心情を育てるのに有効であったか。

## 3 授業改善のポイント

高学年になり、自分のものの見方や考え方が広がってきた児童もいるが、まだ、自分本位な考え方が強く、学校生活の中で、ちょっとした友達の失敗を許せなかったり、必要以上に責めたりする児童も多い。また、そのやりとりがもとで、ケンカに発展し人間関係がこじれる場面もしばしば見られる。

本授業では、ひろし的心情を明らかにし、ひろしがのりおの失敗を許した行為の理由を話し合う活動を取り入れる。その時に、理由の種類を分類し、多面的に捉えさせるようにする。また、問い返しをして、相手の失敗を許すことの難しさにも気付かせたい。そして、相手を許すことで自分や相手の気持ち、自分と相手との関係にもたらす良い影響に気付かせ、ねらいとする寛容の理解に向けて内面的な自覚を図りたい。

4 単元名（題材名・主題名） 「折れたタワー」 広い心（B-11 相互理解、寛容）

## 5 題材観

人間が集団の中でよりよく生活していくためには、謙虚さと寛容な心が必要になってくる。しかし、常に寛大な心を持ち、他人の失敗を許すことはなかなかできることではない。自分の立場や思いを守るために、つい他人の失敗を一方向的に非難したり、自分とは異なる意見や立場を受け入れることが難しくなったりする場合が多い。また、自分と相手との関係によって、寛容であったり、そうでなかったりする場合もある。

人間は何でも完璧にできるわけではなく、誰でも失敗をすることはある。そのことを自覚することで相手の立場を考え、理解し、寛容な態度をとることができる。また、自分に対して謙虚であるからこそ、他人に対して寛容になることができる。このように、寛容さと謙虚さが一体のものとなったときに、広い心が生まれ、それは、よりよい人間関係を構築できると考える。

本教材は、児童の日常生活においてもありそうな場面が書かれている。自分の大切なものを故意ではないが壊されてしまった時に、じつとうつむくのりおの気持ちや状況を見て、どうしようかと悩むひろしの心の揺れに共感しながら考えることができる教材である。児童にとって体験しそうな場面を通して「自分にも失敗はある」という謙虚な心、「誰にでも失敗はあり、相手とよりよい関係を築くためには相手の立場に立ち、広い心で相手の失敗を受け止めて許す」という寛容な心の大切さを考えさせていきたい。

## 6 本時の学習

### （1）本時のねらい

誰にでも失敗があることを理解したうえで、相手の失敗を許そうとするひろしの思いを捉えることを通して、相手の立場になって、広い心で許そうとする心情を育てる。

(2) 展開

	学習活動	留意点
導入	<p>1 相手の失敗を許せた時と許せなかった時を振り返り、本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日直の仕事を忘れたとき</li> <li>・サッカーでシュートを外したとき</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>めあて どうしたら広い心をもてるのだろう。</p> </div> <p style="text-align: right;">(5分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート結果をもとに、本時の学習のねらいとする価値について、児童一人一人に課題意識をもたせる。</li> </ul> <p><b>【許せた時】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・謝ってくれたから。</li> <li>・自分にもあるから。</li> </ul> <p><b>【許せなかった時】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・謝ってくれなかったから。</li> <li>・とても大事にしていたから。</li> </ul>
展開	<p>2 教材「折れたタワー」を読んで、話し合う。</p> <p>○じつとうつむいているのりおを見ていた時、ひろしはどんなことを考えていたでしょう。</p> <p><b>【許したくない心】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一生懸命作ったのに、悔しい。</li> <li>・マスクを忘れたとき許してくれなかったから、許さない。</li> </ul> <p><b>【許したい心】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わざと壊したわけではない。</li> <li>・壊れたものは仕方ない。</li> </ul> <p>○なぜ、ひろしはのりお許せたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・責められてかわいそうだから。</li> <li>・わざと落としたわけではないから。</li> <li>・自分も失敗したことがあるから。</li> <li>・のりおの気持ちがわかるから。</li> <li>・また作ればいから。</li> <li>・許した方が気持ちがいいから。</li> <li>・仕方ないから。</li> </ul> <p>○相手を許すことができると、どんないいことがあるでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前よりもっと仲良くなれる。</li> <li>・自分も気持ちがすっきりする。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(30分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひろしにとって、のりおは簡単に許せる相手ではないことに気付かせるため、マスクを忘れたことを責められた時のひろしの心情を想起させる。</li> <li>・自分がひろしの立場だったらどうかを考えるように助言する。</li> <li>・ひろしの気持ちを心のものさしで表し、のりおの気持ちや状況を考え、揺れ動くひろしの心を明らかにする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人がじっくり考えられるよう、自分の考えをワークシートに書かせる。</li> <li>・ひろしの行為について自分の考えを持った後、許した理由について発表させ全体で共有しながら、多様な考えに触れさせる。</li> <li>・理由の種類で分類しながら板書していく。</li> <li>・のりおを許したひろしをどう思うか、自分だったらできるか補助発問により考えを深めさせ、相手を許すことの難しさも捉えさせる。</li> <li>・許してもらったのりおの気持ちも考えさせる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の話し合いを通して、広い心で相手を許すことで、自分や相手の気持ち、自分と相手との関係にもたらす良い影響に気付かせたい。</li> </ul>
終末	<p>3 学習を振り返る。</p> <p>○今日の学習で大切だと思ったことを書きましょう。</p> <p style="text-align: right;">(10分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の感想だけでなく、これまでの自分を振り返りながら、今後の自分の生き方に対する思いや願いを持たせるようにする。</li> </ul>